

会議録

会議の名称	令和2年度第3回西東京市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和2年12月16日（水曜日）午後7時から8時4分
開催場所	田無庁舎4階 第3委員会室
出席者	出席：嶋田委員、米崎委員、村田靖委員、平山委員、指田委員、岸保委員、浅野委員、渡辺委員、伊集院委員、清水委員、土方委員、渡邊委員、福田委員、正岡委員 欠席：村田秀夫委員 事務局：市民部長、保険年金課長、国保給付係長・主任、国保加入係長、国保徴収係長
議題	諮問事項 令和3年度の国民健康保険料のあり方について
会議資料の名称	資料1 令和3年度国民健康保険特別会計歳入歳出予算の考え方 資料2-1 令和3年度所得階層別国民健康保険料改定影響額（推計） 資料2-2 所得階層別保険料比較表（給与収入世帯・フリーランス世帯） 資料3 多摩26市の国民健康保険税（料）率比較表 資料4 国民健康保険財政の健全化に向けた取組
記録方法	<input type="checkbox"/> 前文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
1 開 会	
○会長 令和2年度第3回国民健康保険運営協議会を開会します。	
（会議録署名委員の指名）	
○会長 今回の会議録署名委員は、浅野委員と渡邊委員にお願いしたいと思います。	
（傍聴について）	
○会長 傍聴の方はいらっしゃいますか。	
○事務局 いらっしゃいます。	
○会長 入っていただいてよろしいですね。 （「異議なし」の声あり）	
○会長 それでは、事務局から本日の議事進行について説明をお願いします。	

○事務局

【議事進行、配付資料の確認】

本日の協議会は、欠席の連絡をいただいている委員が1名でございます。
定足数を満たしていますので本協議会の成立をご報告します。

2 議 題

(1) 令和3年度の国民健康保険料のあり方について

○会長

それでは、議題に入ります。事務局から資料の説明をお願いします。

○事務局

【配布資料1から3の説明】

○会長

いかがでしょうか。ご説明受けました。質疑、ご意見はございますか。

○委員

資料2-1で所得が33万円以下で1人世帯の場合は9,707世帯と説明がありましたが、1人世帯というのは、国保加入者が1人いる家という解釈ですが、例えば1人暮らしは何世帯ぐらいなのか詳細は分かりますでしょうか。

また、持続化給付金などは、この所得計算に関わるのでしょうか。

○事務局

居住実態までは把握できておりません。

持続化給付金などが加味されるかどうか、確認して後日回答させていただきます。

○委員

周りを見てもコロナの影響で、所得自体が減っている状況が目に見えている状況で、保険料を上げるのはどうなのか。この資料で税収の減りというのは分かるのですが、周りの暮らしを考えてどうなのかと思います。

○委員

コロナの部分についてのデータの集計はこれからということですが、その辺の暫定的な数字は大体いつごろがめどなのでしょうか。

○事務局

実際にコロナの拡大に伴って保険料収入がどれくらい下がるかは、申告をいただいて明らかになると思いますが、現時点で、保険料減収は、コロナの拡大による所得の減少で1.1億円ぐらい、平成30年度の税制改正でフリーランスの方々の保険料が安くなる影響で5,000万円ぐらいと見込んでおります。今後、情報を集めて精度を上げていきたいと思っております。

○委員

予算編成時期であり、当然各部署は予算を減らすよう言われていると思われま。コロナによる減収の影響はすごくあると思いますが、そういうところを加味して考えてい

かないといけないのではないかと思います。

○委員

コロナがどの程度広がるかというところが未知数なところもあって、それが結局、それぞれの所得に響いてくるのだと思います。まだ当分かかるので、なかなか予想を立てるのが難しいです。この状況が2年ぐらい続くとなると、保険料についても長期的に考えていかなければならないと思います。

○委員

収入とか税収などの予測は、流動的過ぎて無理だと思います。とりあえず、据え置いて1年様子を見て、改善していくのだったら1年遅れぐらいでやっていくほうが現実的な感じがします。

○委員

コロナの感染が始まって1年たっていない。結果を見ないと予想できないと思いますので、すぐに令和3年度に反映するのではなく、1年間たってどの程度影響が出たかということがはっきりした時点で考えた方がよいのではないかと思います。

○委員

資料2-1で世帯別の所得金額が1,000万円超の世帯は、世帯当たり保険料の増加額が少ないのは何か理由があるのですか。あと、資料3は、他市が改定を実施しないで、西東京市だけが実施したらこういうデータになるということなのでしょうか。

○事務局

一番高い所得の階層の方々には保険料賦課額に達している方なので、料率は上がっても、それ以上余り上がらないという意味で増えない方になります。また、他市の改定は未定ですので、令和2年4月1日現在で比較した資料となります。

○委員

資料3について、現時点では他市の改定は未定と思われませんが、その辺は状況を調査した上で、実際に上げるかどうか。そこまで上げていいのかどうかという議論もあると思います。コロナの影響が大きいというところで市民の生活を確保して守るという意味で、上げるとしてもわずかにするとか、また、上げないとどこかでしわ寄せがきてしまうので、その辺も考慮しながら決めていなければいけないかなとは思っています。

○委員

現状では、コロナの影響で、被保険者の収入、所得がどれだけ影響を受けるのかを見込むのが難しい時期だと思います。財政健全化計画のとおり改定をするか、1年先送りにするか、改定の内容を最小限にするかになるかとは思いますが、判断できない。

○委員

最初は、今のコロナの状況で世の中は大変になっていて、保険料のアップで負担が増えてしまうのは大変ではないかなと思いましたが、個々の所得が下がることによって保険料が少なくなって、増収が見込めなくなるという点で、それぞれの家庭は、収入減になればそれによって保険料自体は少なくなる。そうすると、保険料アップがあっても、

所得が今回コロナのことで非常に少なくなって厳しくても、保険料自体は各家庭で上らないのではないかなと思うところもあります。

○委員

資料3の所得割ですが、八王子市と立川市は高いというのは分かるのですが、東大和市が2位というのはどういう要因ですか。

○事務局

短期間での赤字解消計画を策定したことによるものと思われます。

○委員

収入と支出のバランスがどのぐらいの影響を及ぼすのか、見当がつかない部分がありますが、収入は余計に入ることはないのですよね。その辺をどのように考えるか難しいですが、そのまま進めてもいいのではないかなと思います。

○委員

今年は大変な年だったけど、今年頑張れば来年は良い年になるかというほとんどの人がもっと悪くなるだろうと感じています。コロナによって生活スタイルが変わり、今までのように仕事ができるとは思えなく、来年はさらに所得が落ちると考えている人が多いのが現状だと思います。

○委員

減収になった方は当然また保険料も下がることを考えると、据え置きするのではなくて、このまま一回値上げしてみるとか、健全化のほうに向けて一步を踏み出してみてもいいのかなというのがあります。このまま一回やってみて、来年度様子を見て、それでちょっと無理があるのであればまた見直すということをしてもいいのかなと思います。

○委員

かかる人はかかるけれども、何とか持ちこたえたい人にはちょっと負担してもらおうということでもいいのではないかな。先が見えないので、ある程度決めた方針でやって、例えば来年変更するということでもいいと思います。

○委員

健全化計画のとおり上げていくのはすごくいいと思います。こういう状況でなければこのとおりにやっていくというのが本来かなと思っています。コロナ禍だから今年是这样子でした。来年も同じですとって、結局は計画のとおり改定ができない可能性も出てきてしまうので、上げられなくなってしまうことも考えられます。

○委員

今回は、計画のとおり上げて、結果をみて考えるという選択肢でよいのではないかなと思います。

(3) その他

○事務局

次回、第4回の運営協議会の開催について調整させていただきたいと思います。

(次回の日程調整)

○会長

令和3年1月20日（水）午後7時といたします。

3 閉 会

○会長

予定した議題が終わりましたので、本日はこれで閉会にしたいと思います。

午後8時4分 閉会